横浜合唱協会は、J.S.バッハの声楽曲をより高いレベルで演奏することを目指して、1970年に発足したアマチュア合唱団です。常任指揮者に八尋和美氏（元東京混声合唱団指揮者）を迎え、松尾地恵子、木島千夏、小林彰英、佐野正一の諸氏をヴォイストレーナーとする充実した指導陣のもと演奏活動を行っており、最近ではバッハの声楽曲を軸にメンデルスゾーン、ブルックナー等のロマン派、さらにはマルタン、ペルトなどの近・現代の作曲家の作品にまでレパートリーを広げています。また、かつてバッハがカントルを務めたライプツィヒ聖トーマス教会の現カントル、G.C.ビラー氏との交流は20年にも及び、1997年、2002年、2008年と3回のドイツ演奏旅行を実現することができました。

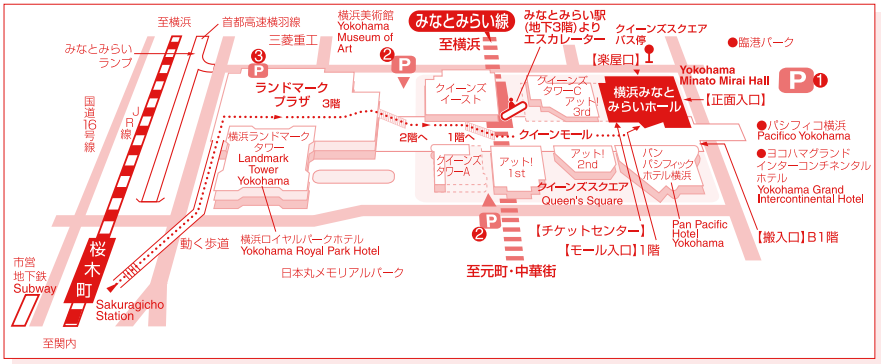
ドイツ・レクイエムについて

ブラームスの『ドイツ・レクイエム』は、バッハの『ロ短調ミサ』、ベートーヴェンの『荘厳ミサ』と並び称されるドイツ宗教音楽の傑作で、19世紀後半を代表する宗教作品であるとともに、17、18世紀の古楽の研究および対位法研究の集大成でもありました。この作品の成功がブラームスの作曲家としての地位を確かなものにしました。恩師シューマンの死と母の死に接し、あとに残されたブラームスが、死者の霊の慰めのためではなく残された者への慰めのために作ったと言われるこの作品には、人間への深い慈愛と慰めが満ちています。ブラームスのよき理解者であったハンスクリックの言葉にこの作品への感動が美しく要約されています。「親しい人を失った経験を持たない幸福な人は、ただ美だけを認める幸福な感情でこの曲を聴くことができるだろう。愛する者の死を悲しむ人はソプラノのアリアの、人を哀傷に沈ませずにはおかない響きを聴く時、涙なしではいられないであろう。その人はしかしまた、この音楽の中から純粋な慰めが、光と力を伴って流れ出ることを身をもって味わうに違いない。」

横浜みなとみらいホール案内図

●みなとみらい駅（東急東横線直通／みなとみらい線）
下車、「クイーンズスクエア横浜連絡口」より徒歩3分
●桜木町駅（JR京浜東北・根岸線／横浜市営地下鉄）
下車、動く歩道からランドマークプラザ経由でクイーンズスクエア1階奥（徒歩12分）

■横浜みなとみらいホール
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい2−3−6
045-682-2020



入　団　案　内

当合唱団では各パート若干名の団員を募集しています。熱心に練習していただける方をお待ちしています。

■ 練習日
毎週土曜日　午後6:00-9:00

■ 練習場所
吉野町市民プラザ
（横浜市営地下鉄　吉野町駅）　他

■ 会費
入会金　1,000円
月会費　一般　5,500円　30歳未満　3,000円　学生　2,500円

■ 連絡先
Tel：0466-23-9221（あらい）

■ ホームページ
http://www.ycs.gr.jp/

最 近 の 演 奏 歴

2007年	2月	ドイツ ア・カペラ モテット（バッハ他）	八尋 和美	指揮	
2007年	8月	ミサ曲ロ短調（バッハ）	八尋 和美	指揮	（東京バッハ・カンタータ・アンサンブル）
2008年	6月	祈りの変遷（バッハ、スタンフォード、ペルト他）	八尋 和美	指揮	
2008年	8月	第3回ドイツ演奏旅行	八尋 和美	指揮	聖トーマス教会礼拝　他
2009年	8月	マニフィカト（バッハ）	八尋 和美	指揮	（東京バッハ・カンタータ・アンサンブル）
2010年	5月	ヨハネ受難曲　第4稿（バッハ）	八尋 和美	指揮	（東京バッハ・カンタータ・アンサンブル）
2011年	5月	復活への祈り（タリス・バード・パーセル他）	八尋 和美	指揮	
2012年	2月	シュッツとバッハ	八尋 和美	指揮	

チケット申し込み

■ **チケットぴあ**
http://t.pia.jp/
TEL: **0570-02-9999**
Pコード: **184-258**

■ 横浜合唱協会
TEL: 045-894-3031
（ふじい）
Eメール:
ycs_ensoukai@yahoo.co.jp

■ FAX申し込み　　FAX番号　045-894-3031（ふじい）

横浜合唱協会第62回演奏会　「ドイツ・レクイエム」

フリガナ お名前			
ご住所	〒		
TEL/FAX	TEL　（　　）　□自宅 □勤務先	FAX　（　　）　□自宅 □勤務先	
お申し込み内容	S席　　枚	A席　　枚	学生席　　枚